

「いつもよりちょっと短めクールビズ」  
小川博司(滋賀県)

●第9回恋人の聖地 綾町・照葉短歌賞  
【主催】綾町

【一般の部 最優秀賞】2万円

「ふたりして漕ぎ続けたる小さき舟みお  
つくしなり二人の子らは」  
小森愛子(宮崎県)

【高校生の部 最優秀賞】

「打席立ち一点見つめる君の視線私を射  
ぬく打率10割」  
前田彩子(宮崎県)

【小・中学生の部 最優秀賞】

「笑顔でも少し困ったようになる君の眉  
毛がとっても好きだ」  
大久保愛(宮崎県)

【応募総数】629点

●第31回蒲郡俊成短歌大会

「俊成の里短歌大会」  
【主催】蒲郡俊成短歌大会実行委員会

【大賞 愛知県知事賞】  
「ランドセルには内緒話がよく似合ふ赤、  
茶、ピンクが坂の途中で」  
山本令子(愛知県)

【大賞 蒲郡市長賞】

「悟ったか論されたのか梅花見る子かも  
う言わぬ転職願望」  
梶村京子(愛知県)

【応募総数】695点

●第30回黄桜の丘桜まつり 短歌募集  
【主催】十日町市観光協会中里事務所

【十日町市長賞 一般の部】  
「故郷の黄桜見せに連れ来しは君が初め  
て君がしんがり」  
平松泰輔(北海道)

【十日町市長賞 ジュニアの部】  
「あと少しがんばってよね黄桜さんまた  
今年もさ笑顔にしてよ」  
吉楽友菜(小学5年生/新潟県)

【応募総数】958点

●第10回JAF みんなのエコ川柳  
【主催】日本自動車連盟(JAF)

【ECO大賞】  
「姉妹では 昔お下がり 今はシェア」  
赤松沙織(千葉県)

【応募総数】2万5336点

●第10回足クサ川柳  
bY SUPER SOX 募集

【主催】岡本

【最優秀賞】  
「電力に 変えられないか この二オイ」  
ありやま(東京都)

【選評】今年の4月から始まった「電力自  
由化」。もし足の二オイを電力に変えら  
れたら…なんて事務局も想像してしまっ  
たユニークな作品です。

【応募総数】2万4920点

●第2回憲法改正(改憲)川柳コンクール  
【主催】新しい憲法をつくる国民会議(自  
主憲法制定国民会議)

【大賞】3万円

「世は変わり 憲法変わらぬ この不思  
議！」

ナンサン(神奈川県)  
【応募総数】1685点

●岡安マネー五・七・五  
【主催】岡安商事

【大賞】  
「配当で 猫のもの買う 街うらら」  
相模秋茜(神奈川県)

【応募総数】3092点

●第4回東京池袋川柳(いけせん)  
誌上句会

【主催】東京池袋川柳会

【特選】  
「会いたい」を燃料にしてペダル漕ぐ」  
足立有希

「めらめらと二月堂から春が来た」  
中村宗一

【選評】足立有希II坂道。寸時を惜しんで  
逢いに行く。深夜だろうか？など色々な  
状況が思い浮かびます。車や交通機関を  
使わず自転車という点も若い情熱を想  
起させます。「会いたい」という括弧を使  
った表記から、心の眩ぎや、溢れる情熱  
が吐かせる「会いたい」という言葉など、  
様々な場面を連想させます。

中村宗一II水取りの行事のことですね。  
めらめらと春が来る。という表現にぐ  
ぐと惹かれました。燃えるからの発想、  
みごとです。

【応募総数】1037点

●第14回元気川柳  
【主催】高根沢町観光協会

【最優秀賞】

「湯の中で 賞味期限を 延ばす妻」  
梶政幸(千葉県)  
【応募総数】3752点

●第13回私からあなたへの万葉集プロジ  
ェクト 短歌・俳句または川柳募集

【主催】明日香村教育委員会/明るい社会  
づくり運動奈良

【小学生の部 大賞】  
「いにしえの光の中のぬくもりが被災の  
胸を優しく包む」  
短歌部門 横溝麻志穂(宮城県)

「残る雪まだまだとけぬと意地を張る」  
俳句・川柳部門 小川夏輝(奈良県)

【中学生の部 大賞】  
「悔しさに涙ながして見る空はなぜこん  
なにも青いのだろう」  
短歌部門 山田晴穂(岐阜県)

「げんかんにタオル一枚雨の日に」  
俳句・川柳部門 天野真紀(岐阜県)

【一般の部 大賞】  
「みどり児はやはらかき背を反らせ見る  
ほほえむ母とひかりの空と」  
短歌部門 稲葉正子(奈良県)

「みちのくの鐘撞きにけり涅槃西風」  
俳句・川柳部門 落合好雄(埼玉県)

【応募総数】1500点

●第8回日本旅のペンクラブ 「旅の日」  
川柳募集

【主催】日本旅のペンクラブ

「旅の日」川柳大賞】3万円

「なんちゃって俳人になる旅の空」  
おとあ(岐阜県)

【応募総数】1万143点